



いのち
もやしで、
たたけよ。

「鼓童」三〇年の軌跡

太鼓を叩くのが好きだ。
あの音。

生命のリズムそのもの
という感じ。

魂の躍動が

そのまま響きとなって

宇宙に広がるようで

血が騒ぐ。

いわゆる楽器を奏でる

気どった技巧ではない。

無条件に高鳴る。

太古から

南北・東西を問わず

全身をぶつけて

響かせてきた夢。

岡本太郎